

事務局 札幌市西区西野
7条2丁目1-2
齋藤 彰方
TEL 090-3773-8824

発行責任者
会長 竹田正直
北大教育学部同窓会

鈴木 朝英 先生揮毫

部局と大学の現状
—国際化の推進と
新たな大学改革



教育学研究長・教育学院長・教育学部長

小内透

教育学部長・教育学院長・

私こと本年四月から教育
学研究院長・教育学院長・

教育学部長に就任いたしま
した。よろしくお願ひしま
す。部局や大学の現状につ
いてご報告申し上げ、ご挨
拶にかえさせて頂きます。

まず、大学院教育学研究
院・教育学部所属の教員の
動向についてお伝えします。

本年三月末をもって、梅津
徹郎教授、山田憲政教授、
大沼義彦准教授、宮盛邦友
助教の四名の方が辞められ
ました。梅津先生は定年の
ためお辞めになり、現在は
北海道文教大学人間科学部
在職中は、教職課程の充
実のために尽力して頂きま
した。山田、大沼、宮盛の
各先生は転出されました。

授になられました。山田先
生、大沼先生には大学院・
学部・全学教育の体育学領
域の研究・教育に長い間貢
献して頂き、宮盛先生には
助教の立場から大学院・學
部のために力を發揮しても
らいました。

また、姉崎洋一教授、西
尾達雄教授、矢野徳郎教授
の三名が本年三月末に定年
となり名誉教授の称号を授
与され、四月から特任教授
になりました。姉崎先生
はこれを機に約三年にわ
たって務めてこられた教育
学研究院長・教育学院長・

教育学部長の任を解かれる
ことになりました。三名の
先生方には、今後とも研
究・教育の面で尽力して頂
けることになります。

四月の段階で新任の先生
はおりませんが、一〇月か
ら二名の先生が来られるこ
とが決まっています。なお、
現在、来年四月採用を目指
した人事を進めていますの
で、その結果は来年の同窓

山田先生は中京大学スロー
ツ科学部スポーツ教育学科
教授、大沼先生は日本女子
大学人間社会学部現代社会
学科教授、宮盛先生は學習
院大学文学部教育学科准教
授になりました。山田先
生、大沼先生には大学院・
学部・全学教育の体育学領
域の研究・教育に長い間貢
献して頂き、宮盛先生には
助教の立場から大学院・學
部のために力を發揮しても
らいました。

北海道大学 ホームセミナー 2014

主催：北海道大学 共催：北海道大学連合同窓会
主会場：北海道大学札幌キャンパス（クラーケン会館他）
日時：平成26年9月27日（土）

10：00

10：35～11：20

記念講演会

11：20～12：00

応援団による歓迎のステージ
詳しくは同封のチラシ、及びホームページをご覧ください。

ホームページはこちら
<http://www.hokudai.ac.jp/home2014/>

文系四年級共回講演会

会場：14：00～15：30 W棟（軍艦講堂隣）103号室

テーマ：「憲法改正問題の背景—過去と現在からのアプローチ」

講師：川口 晓弘氏（北海道大学大学院文学研究科准教授）

山口 二郎氏（法政大学法学部教授、北海道大学名誉教授）

* 15：50～16：30 は質疑応答

詳しくは会報最終ページの広告をご覧ください。

H26年度北海道大学教育学部同窓会総会・懇親会

日時：平成26年9月27日（土） 16：45～17：15
会場：軍艦講堂1番教室

四学部合同懇親会 17：30～ 中央食堂2階
会費：3,000円（同伴家族は2,000円）

連絡先（幹事）：

TEL：090-3773-8824

齋藤 彰（サイトウ アキラ S55教育行政卒）

平成 26 年 8 月 20 日

会便りでお知らせすること
ができると思ひます。

昇進については、四月から浅川和幸准教授が学校教育論講座で生徒指導論を担当する教授になり、身体教育論講座で体育方法学を担当する厚東芳樹助教が准教授になりました。

大学院教育学院所属の先生にも異動がありました。

四月から青山和佳准教授（メディア・コミュニケーション研究所）が東京大学東洋文化研究所の准教授、高橋彩准教授（国際本部留学生センター）が佐賀大学国際交流推進センターの教授として転出されました。お二人ともこれまで教育学院多元文化教育論講座に所属し、院生の教育に貢献して頂きました。

また、木村純教授（高等教育推進機構）、竹本幸博教授（メディア・コミュニケーション研究所）が三月末で定年となり、名誉教授の称号を与えられ、四月から特任教授になられました。

なお、四月から飯田直弘准教授（高等教育推進機構）が教育学院に新たに所属することになりました。

飯田先生の前職は九州大学

大学院人間環境学研究院の助教で二〇一三年一〇月に高等教育推進機構の准教授に異動されました。比較高等

教育論が専門で、教育学院の生涯学習論講座で院生の教育を担当されます。

昨年度から今年度にかけ、多くの先生方が異動しています。来年度もこの傾向は続きます。先生方の異動の情報については、今後も窓会便りを通じてお知らせしていきます。

続いて、部局や大学の改革の動きについて、お知らせします。四月から、教育

学研究院附属子ども発達臨床研究センターの組織を再編しました。これまで子ども臨床研究部門、子ども発達研究部門、子ども支援研究部門の三部門体制だったものを子ども臨床研究部門、子ども発達支援研究部門、教職高度化研究部門の体制に変更しました。教職高度化研究部門では、大学院レベルでの教職課程のカリ

キュラム開発が研究課題となります。この部門を担当される先生は一〇月に着任することになります。この部門を担当することになります。

北大では、近年、国際化への対応に力を入れており、

昨年四月から新渡戸カレッジを開校しました。新渡戸カレッジは、学部教育と並行して、豊かな人間性・国際性を育むために取り入れられた特別教育プログラムです。留学支援英語、英語による国際交流科目・学部専門科目により実践的な英語力を身につけ、原則として一セメスター（およそ半年）以上の海外留学に参加

します。一二学部のすべての学生を対象とした横断的教育カリキュラムで、定員が二〇〇名です。希望者の中から一定の英語能力を持つた者に仮入校の許可を与え、一学期終了後の成績等の結果により正式にカレッジ生となります。教育

学部には、二年生で三名のカレッジ生があり、教育学部の学部別入試で入学し総合教育部に所属する一年生に二名の仮入校生がいます。

各部局では、カレッジ生の支援が求められています。

これとは別に、一〇月から現代日本学プログラムの予備課程が始まります。現代日本学プログラムは、外国人留学生を対象とした四年間の新しい学士課程プログラムです。本プログラム

は、現代日本の社会や文化に関心を持つ留学生に対しても受講するものです。そこで、日本語教育を重点的に行うことにより、国際社会において日本の真によき

文化を育むために取り入れられた特別教育プログラムです。留学支援英語、英語による国際交流科目・学部専門科目により実践的な英語力を身につけ、原則として一セメスター（およそ半年）以上の海外留学に参加

します。一二学部のすべての学生を対象とした横断的教育カリキュラムで、定員が二〇〇名、全体で四〇名

です。留学支援英語、英語による国際交流科目・学部専門科目により実践的な英語力を身につけ、原則として一セメスター（およそ半年）以上の海外留学に参加

します。一二学部のすべての学生を対象とした横断的教育カリキュラムで、定員が二〇〇名です。希望者の中から一定の英語能力を持つた者に仮入校の許可を与え、一学期終了後の成績等の結果により正式にカレッジ生となります。教育

学部には、二年生で三名のカレッジ生があり、教育学部の学部別入試で入学し総合教育部に所属する一年生に二名の仮入校生がいます。

各部局では、カレッジ生の支援が求められています。

これとは別に、一〇月から現代日本学プログラムの予備課程が始まります。現代日本学プログラムは、外国人留学生を対象とした四年間の新しい学士課程プログラムです。本プログラム

は、現代日本の社会や文化にわたり英語による集中講義を受講するものです。その後、提携校はソウル大学校（韓国）・チユラロンコン大学（タイ王国）に拡大し、昨年度の参加学生は本

学部二〇名、全体で四〇名でした。参加学生相互の交換は集中講義終了後も継続されています。本年一〇月に

入門や大学での学習の基本として初級日本語、日本文化課程は、入学前準備教育と入門や大学での学習の基本となるスタディ・スキルを

半年間で身につける課程です。来年四月から学士課程の正規の学生になり、三年次以降文系の各学部の授業を受講することになります。

現在、各学部で提供できる授業科目を選定しているところです。

この間、教育学部でも独自に国際化への対応をしてきています。二〇一一年度から日本学生支援機構（JASSO）のESD（Education for Sustainable Development）キャンパスアシスタント形式の交換留学を受託し、北京師範大学（中国）・高麗大学校（韓国）との間でショートステイ・ショート

たものです。大学と文部科学省との意見交換に先立つて、北大の各部局が多岐にわたるデータにもとづいて報告書を作成しました。報告書の作成にはかなりの時間と労力を費やしましたが、最終的には北海道大学のいくつかの部局とともに社会

科学分野として文部科学省のサイトに公表されました。「ミッションの再定義」への対応と相前後して、第二期中期目標・中期計画の前半三年間（平成二二～二四年度）の教育研究活動を中心たる対象にした中間的な自己点検評価を実施し、本年三月末に『自己点検評価報告書』をまとめました。

今年の九月には、「自己点検評価報告書」をもとにした他大学の有識者による外部評価を実施する予定です。本年は第二期中期目標・中期計画の五年目に当たることから、第二期全体を通じた自己評価の準備に取りかかるとともに、第三期中期目標・中期計画の策定に着手しなければならず、すでにその取り組みを始めました。

本年は第二期中期目標・中期計画の五年目に当たることから、第二期全体を通じた自己評価の準備に取りかかるとともに、第三期中期目標・中期計画の策定に着手しなければならず、すでにその取り組みを始めました。

本年四月、山口佳三北大総長が創基一五〇年にあたる

る二〇二六年を目標に、「北海道大学創基一五〇年に向けた近未来戦略（北大近未来戦略一五〇）」と題する文書を公表しました。

同時に、本年六月には、大學運営における学長のリーダーシップの確立等のガバナンス改革を促進することを目的として、学校教育法及び国立大学法人法が改正され、来年四月一日に施行されることになりました。

本部局の中期計画策定は、目標・中期計画の策定は、総長が提示した近未来戦略と大学関係の法改正を背景にして、進められていくことになります。これまでの本部局の伝統を踏まえるとともに、新たな状況に対応しながら、さらなる発展を遂げられるよう、努力していくべきないと考えております。

同窓生の皆様方にも、変わることのないご支援ご指導をおいただければ幸いです。

卒業生・修了生は約二百五十名に過ぎません。齋藤彰幹事長は、印刷費と発送費を頭をいためておりますので、ご協力を願います。

同窓会総会・懇親会への出欠の如何にかかわらず、年

「第三回北大ホームカミングデーと学部同窓会」



同窓会長

竹田正直

(1) 教育学部同窓会会費納入ご協力へのお礼

昨年、二〇一三（平成二十五）年度のこの会報で、私は、厳しくなつてきている教育学部同窓会財政について次のように訴えました。

「教育学部卒業生と大学院教育学研究科修了生をわせると、同窓生は、すでに三千数百人にのぼり、そのうち住所が判明している約千八百五十名に同窓会報を送っておりますが、年会費二千円を納入くださる

卒業生・修了生は約二百五十名に過ぎません。齋藤彰幹事長は、印刷費と発送費をいためておりますので、ご協力を願います。」と記し、教育学部

同窓会総会・懇親会への出欠の如何にかかわらず、年

会費一千円を納入くださるようお願いいたしました。

齋藤彰幹事長によりますと、おかげで、昨年は会費

数年分を納入してくださる

方もあり、発行直後の印刷所の支払いや送料の支払いに大変役立ったことで

した。同窓生の方がたの早速のご協力に深く感謝いたします。

しかし、まだまだ、発送者にしめる納入くださる方がたの比率は低く、今後ともご協力をお願いする次第です。また、役員会でも会報の印刷システムの改革など経費の節減と会費の有効活用にも取り組んでおります。

そのほか、学部からの要請に応えて、アンケートへの協力や現役学生と同窓生の懇談、学部周年行事への協力などを実行しています。

北大の各学部の同窓会は歴史と規模はさまざまです。

大きな学部同窓会は、専用の事務室をもち、専任の職員（部局によっては複数）

を雇用しています。第二次大戦後に創設された文系学部でも事務室をもちアルバイトを雇っているところも

あります。教育学部は、

会報員会の意向は、いまのところ、同窓会総会・懇親会を「ホームカミング

教育学部同窓会の活動は、

五年ごとの同窓会名簿（希望者に有料で頒布）の発行もありますが、毎年の活動

を行なうのが中心です。三月の教育学部卒業式およびその後の祝賀会に生花と飲み物を贈り、会長、副会長、幹事長が出席して祝辞を述べています。

（2）平成二六年九月二七日（土）午後二時

北海道大学は、二〇一二年から「ホームカミング

デー」の開催を始め、初年度は一〇月の第一土曜日でした。昨年度からは、「九月の最終土曜日」となり、本年度も「九月の最終土曜日」で二〇一四年九月二七日（土）です。今後は、「九月の最終土曜日」とのことです。同窓生の皆様には、どうぞ来年度以降、この日程で「ホームカミングデー」をお考え下さり、旅行日程にふくめ、ご家族や知人と一緒にでも母校をお訪ね下さい。

大学側は、できるだけ各学部同窓会を「ホームカミングデー」の日程に合わせて開催してほしいのですが、

基本的に各学部同窓会が

会報員会の意向は、いまのところ、同窓会総会・懇親会を「教育学部同窓会（教育学部はいわゆる

「軍艦講堂」一番教室）

十五分、各学部同窓会が

三〇分は質疑応答

2. 一五時五〇分～一六時

3. 一六時四五分～一七時

4. 一七時三〇分～合同

の出席があります。北海道大学広報課の依頼で広報資料を配布するなど北大全体の発展に協力できることは

あります。北大や学部、大学院を知り、現役の教職員や学生・院生との交流もできる機会となること

です。同窓生が現在の北大や学部、

大学院を開催いたしますので、率先して行っています。

（2）平成二六年九月二七日（土）午後二時

北海道大学は、二〇一二年から「ホームカミング

デー」の開催を始め、初年度は一〇月の第一土曜日でした。昨年度からは、「九月の最終土曜日」となり、本年度も「九月の最終土曜日」で二〇一四年九月二七日（土）です。今後は、「九月の最終土曜日」とのことです。同窓生の皆様には、どうぞ来年度以降、この日程で「ホームカミングデー」をお考え下さり、旅行日程にふくめ、ご家族や知人と一緒にでも母校をお訪ね下さい。

大学側は、できるだけ各学部同窓会を「ホームカミングデー」の日程に合わせて開催してほしいのですが、

基本的に各学部同窓会が

会報員会の意向は、いまのところ、同窓会総会・懇親会を「教育学部同窓会（教育学部はいわゆる

「軍艦講堂」一番教室）

十五分、各学部同窓会が

三〇分は質疑応答

2. 一五時五〇分～一六時

3. 一六時四五分～一七時

4. 一七時三〇分～合同

懇親会（中央食堂二階、会費三、〇〇〇円、同伴家族は二、〇〇〇円）

(3) 教育学部の最近のゼミ
履修グループ

最近、大学院教育学院・教育学部の『便覧』（平成二六年四月刊、二二一～二二二頁）で、専門演習（ゼミ）の履修グループを見る機会があり、二五研究グループの多様な発展を遂げていることを知りました。初期の卒業生にとつてはゼミ数が三倍化したことになりますし、私が現役のころからみてもほぼ二倍化しています。

次にゼミのグループ名をあげておきますので、ご自分の所属したゼミとの関連や「ホームカミングデー」などで学部を訪ねたさいにゼミ訪問の参考にしてください。

1. 教育史・比較教育研究
グループ（以下 G）、2. 教育思想研究 G、3. 教育

方法学研究 G、4. 生徒指導論研究 G、5. 社会教育研究 G、6. 産業教育訓練研究 G、7. 教育行政学研究 G、8. 学習・授業論研究 G、9. 教育社会学研究

- G、10. 教育福祉研究 G、11. 青年期教育 G、12. 高等教育研究 G、13. 特殊教育・臨床心理学研究 G、14. 発達心理学・児童発達研究 G、15. 乳幼児発達研究 G、16. 教育臨床心理学研究 G、17. 体育史研究 G、18. 体育社会学研究 G、19. 体育方法研究 G、20. 体力科学研究 G、21. 健康科学研究 G、22. 身体運動科学研究 G、23. 運動生理学研究 G、（以下の 2 G は大学院教育学院のみ）24. 生涯学習研究 G、25. 多元文化研究 G、

(4) 多彩な分野での同窓生の活躍

教育学部の同窓生は、全学院のみのグループを含めて四九名です。1. グループから 23. グループまでの学部と大学院の両方のゼミを担当する教員数は三七名です。この三七人の教員が二三グループを構成していますが、二、三名の複数グループは一二グループで、あとの一、二グループは一名の教員です。

かつて、小講座制の矛盾の克服を目指して「教育研究グループ制」への移行を討議した際、長期出張や国内外研修、転勤などによるゼミ学生・院生の学習研究

へのしわ寄せを最小限にとどめるため、また、教育学の研究方法が必要とする調査、実験などの協働性、研究の国際水準の確保などから各グループは二、三名としたことを想起しました。おそらく、かつての小講座が、制度上公的に大講座制になつたことにより、流动性、柔軟性が高まり、大講座内での協働性がワンマングループの矛盾を克服できるようになつたのでしょう。

教員総数は、大学院教育リードしている北海道銀行副頭取、全国有数の大都市の高島屋デパート社長などなどです。

東アジア地域への進出をさつばる理事長、ロシアのシア協会会長として、「日本憲法第九条を世界に普及しよう」という多言語訳カラーリーフレットを世界で七ヶ言語で発行する活動と、さつばるユーラシア音楽クラブ代表として、北大農学部の同窓生である「伊サート」を行いましたが、そのどちらでも、北大教育福部昭生誕百年記念コンサートを行いましたが、そのどちらでも、北大教育学部の同窓生の方がたにご支援をいただきました。特に留学生であった外国人研究者や外国在住同窓生に大変お世話になりました。いろんな課題をかかえたときには同窓生は本当に頼りになります。ありがとうございます。

このようない北大教育学部の創設構想と理念が目指したものでした。

第二次世界大戦敗戦直後の一九四八年（昭和二三年）一一月に、北大からの依頼で、文部省付属国立教育研修所所長であった城戸幡太郎先生（二代目学部長）は、所員であつた鈴木朝英先生（四代目学部長）らと討議を重ねて北大教育

アジアオリンピック金メダリスト、全日本オリンピックコーアチ、作家・脚本家、

アジアオリンピック金メダリスト、全日本オリンピックコーアチ、作家・脚本家、クコーアチ、作曲家、演出家、音楽家、教育史、産業教育、生

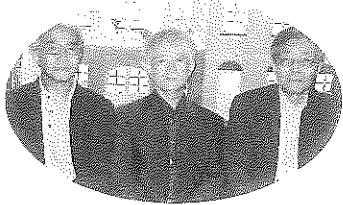
育、教育制度、特殊教育の八講座しか認めなかつたのです。城戸先生らは、後に学内ポストを活用して音楽専攻と体育専攻を募集しました。今夏、私は、日本ユーラシア協会会長として、「日本憲法第九条を世界に普及しよう」という多言語訳カラーリーフレットを世界で七ヶ言語で発行する活動と、さつばるユーラシア音楽クラブ代表として、北大農学部の同窓生である「伊サート」を行いましたが、そのどちらでも、北大教育福部昭生誕百年記念コンサートを行いましたが、そのどちらでも、北大教育学部の同窓生の方がたにご支援をいただきました。特に留学生であった外国人研究者や外国在住同窓生に大変お世話になりました。いろんな課題をかかえたときには同窓生は本当に頼りになります。ありがとうございます。

北大の学部構成から見ると、北大教育学部にこれまで勤務したことのない教員は、獣医学部出身者と歯学部出身者のみで、あとの一〇余の学部出身者（出身大学は

部が設置するために文部省は、年次構想として教育計画、教育史、産業教育、生

育、社会教育、学校教育、教育制度、特殊教育の八講座しか認めなかつたのです。城戸先生らは、後に学内ポストを活用して音楽専攻と体育専攻を募集しました。今夏、私は、日本ユーラシア協会会長として、「日本憲法第九条を世界に普及しよう」という多言語訳カラーリーフレットを世界で七ヶ言語で発行する活動と、さつばるユーラシア音楽クラブ代表として、北大農学部の同窓生である「伊サート」を行いましたが、そのどちらでも、北大教育福部昭生誕百年記念コンサートを行いましたが、そのどちらでも、北大教育学部の同窓生の方がたにご支援をいただきました。特に留学生であった外国人研究者や外国在住同窓生に大変お世話になりました。いろんな課題をかかえたときには同窓生は本当に頼りになります。ありがとうございます。

わが青春の教育学部



右から、国吉、逸見、須田

私は、一九六二年（昭和三七年）の北大入学。当時は文類でした。クラスは一年一組。一年半後の学部修行を控え「さあ、どこの学部を選ぶのか」が一つの課題。何となく、法、経学部を考えたものです。司法試験をめざす専門誌も数回購入したりしました。

ところが私の中学の先輩（すでに文学部四年生でした）からすぐにサークル勧誘を受けました。サークル名は農村セツルメント「どんぐり会」。夏と冬に穂別町（現在はむかわ町と合併）に滞在し、援農や子ども会、青年会、婦人会を催し、さらには医療相談も

うようになつてゐたのです。当時の恵迪寮は、五人部屋のサークル制。たまたま私が転がり込んだ部屋がなんと「恵迪セツルメント（わらび会）」、全員が意気盛んな一年生なのです。活動対象は札幌市内の児童養護施設でした。主な活動は、週に一・二回学習指導や子供たちの話し相手、遊び相手になること。

どんぐり会とわらび会の二股かけてのサークル活動、よくやつたものとあきれるばかりですが、「若さ」とは何でもやつてしまふのですね。教養部の昼間の授業は眞面目に出て、学部移行の単位の取得はそれなりに

ようやく私は私自身を見つめることができるようになったのでしょうか。

そして、「憧れ」の教育学部への移行。文系四学部の中の最小学部ですから、先輩、同輩たちともたちまちのうちに親しくなりました。専攻は社会教育でした。のちに、布施鉄治先生の農村社会学に基づく農村調査にも入りますが、それは四年生になつてから。ここでも長浜功先輩が立ち上げた「教育青年会」なるサークルに入り、札幌市内の勤労青少年サークルとの関わりを持ちます。地方から出てきて住み込みなどで働く勤育青少年の青年団やサーク

そのうちに、学部自治会の仕事が回ってきました。執行部は半年の交替制。なにせ小さい所帯ですから、順番に回ってくる仕組みなのです。高校の生徒会の延長のような気分で役職を引き受けましたが、学生運動はまだまだ盛んな時代。全国の世界の青年、学生運動の波がわが学部にも押し寄せてきました。平和、政治、経済の構造、これも勉強になりました。実家の親、兄弟たちは、私が学生運動にまで加わったことに多少の心配はしたようです。しかし、父は「みんなから選ばれて役職を任されることはない大事なことだ」と容認して

卒業後、数年間は地域経済の調査に関わる仕事を経て、北海道中小企業家同友会事務局に入局、その後全国組織の中小企業家同友会全国協議会の方に移り今日に至りました。学生時代、自分が将来まさか中小企業の皆さんと共に歩む仕事をすることは想像もつきませんでした。しかし、中小企業は、経営者も社員さんも実に人間味豊かな集団を形成し、日本経済を支える柱として活躍しています。「生きることは働くこと、働くことは社会への貢献であり、自らの成長を保証すること」。私が、教育学部時代を通じて諸先生、先輩、後

行つていました。先輩は

遗漏なく進めました。

ル活動を札幌市教育委員会

くれました

輩の皆様から学ばせていた
だいた延長線上に現在の自

ません。

(追記) さる六月十五日札
幌市内で逸見勝亮氏、須田
力氏と旧交を温める機会が
ありました。須田氏は本紙
の編集委員とのこと。その
命に素直に従うことになり
ました。

平成 26 年 8 月 20 日

た時など、こつばく叱られたこともあったが、卒論の指導教官の奈良岡健三先生はじめ保健体育の教員全員と親しく触れ合う恵まれた身であった。

体育の同期の中町栄次郎

君とは社会教育ゼミでも一緒に、国吉君、一年後輩の齊藤秀平君などと共に一年先輩の長浜功さんが立ち上げた「教育青年会」という教育サークルで北学寮の一室で夜遅くまでガリ切りしながら社会の矛盾、不平等への疑問を語り合った。

大学で学ぶ機会を得られなかつた勤労青年たちとの交流を通して実感した「教育の機会均等」の精神とそれを阻むものへの問題意識で「We like Humans」の心が共有された学部時代であった。

縁あつて教育学部教員となつてもいの心は大切にし積りであるが、現実に実践する場は乏しい。教育の機会均等を阻む障壁は、大學の外では一層厳しくなつてゐる。競争原理の支配する風潮と教育の管理体制強化で、「教育の機会均等」さえも「悪平等の解消」の声にかき消されがちである。

た時など、こつばく叱られたこともあったが、卒論の指導教官の奈良岡健三先生はじめ保健体育の教員全員と親しく触れ合う恵まれた身であった。

「こんな自問の中で身体発達のゼミ生たちに伝えたい」と慕つた。札幌駅に集まつたのは男女各一名、二人とも西日本の学生のいでたちはミニスカートとハイヒールであつた。

地区的民生委員のKさんと一緒に住人の独居老人が入院中のためつぶれそうになつた屋根の雪を下し、スノーダンプで堆積場まで運ぶ作業に快い汗を流した。

Kさんのお宅で昼食に全や地域の福利向上に役立てられる効果はないのか、そんな視点も大事にしたい。

定年退職間近となつた教養の体育実技「トレーニング」の授業で、「休日の一日、豪雪高齢化の美流渡」という地域（現在岩見沢市）で私と一緒に除雪ボラン

ティアで体力を發揮する者はいないか？」と尋ねた。

札幌駅に集まつたのは男女各一名、二人とも西日本の学生のいでたちはミニスカートとハイヒールであつた。

地区的民生委員のKさんと一緒に住人の独居老人が入院中のためつぶれそうになつた屋根の雪を下し、スノーダンプで堆積場まで運ぶ作業に快い汗を流した。

Kさんのお宅で昼食に全や地域の福利向上に役立てられる効果はないのか、そんな視点も大事にしたい。

定年退職間近となつた教養の体育実技「トレーニング」の授業で、「休日の一日、豪雪高齢化の美流渡」という地域（現在岩見沢市）で私と一緒に除雪ボラン

る女性ではスノーダンプの排雪作業は十分可能であることが見事に実証された。

この時の体験が強烈なインパクトとなつたのか、文部省の男子学生の小西信義君はこの美流渡地域をフィールドにした文化人類学的な研究に志し、現在は文学研究科博士課程で研究課題としてこの問題を取り組んでいる。小西君は、美流渡を拠点に雪かきボランティアをしながら都市の若者や勤労者が休日にバスツアーや豪雪高齢化地域に行き除雪ボランティアで地域と交流する組織を立ち上げこの交流の輪は着実に広がりつつある。

もう一つ嬉しいことは、体力科学の水野教授、瀧澤准教授と学生さんたちが美流渡の除雪ボランティアを素材とした体力科学的アプローチに加わつていただきていることである。

体力が世代、地域を越えて人と人との共生に役立つことを、残された人生で実証していきたい。

このことを突き詰めていつた結果、現在は予備校講師として浪人生にも教えています。午前中は札駅北口の予備校、夕方からは自分の塾という毎日です。

文系だつたはずですが、どういうわけか化学・地学を教えています。教育学部のあるべき方向とは、それの中では「教える」というのは「ある内容を理路整然とイメージ化しながら説明して聞き手が自分のイメージで理解できるようになります」ということで、その点でいちばんおもしろかったのが化学・地学だったのです。化学の中でも特に理解が難しい、状態変化や化学平衡などは腕の見せ所です。多くの受験生がただの暗記だと思つてはいる無機・有機・糖などの高分子などもうまくやるとほんの少しの暗記ですみます。

いくつかポイントがあるのですが、いちばんは引き付け、そして話し方です。スピード、間のとり方、くりかえし、声の大きさと抑揚、どれも欠かせません。決して説明を省略したり端折つたりしてはいけない。

井之上 博文
平成四年卒身体発達



伝えるし」と

教育学部を卒業してはや

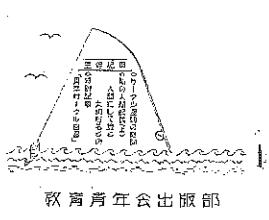
二〇年以上がたちました。身体発達ゼミでは中川功哉先生、須田力先生には非常にご苦労をかけてしまい、當時の私は身体発達学に興味があつたというより、中川須田ゼミにありがたく何年もいさせていただいた、というような感じでした。

そんな劣等生の私が寄稿しますが、恩のある須田先生にお話をいただいて断れるはずがありません。

もしかしたら誰も知りたがつてはいないかも知れませんが、近況を書かせていただきます。この二〇年以上にわたつて札幌市内の学習塾で中高生を教えています。まあ結局、勉強を教えることしか能がなかつたようですが、ただ、その「教える」

月刊 青年サークル

オニ高56号



社会教育のゼミ生を中心とした実践活動を伴つた自主ゼミ「教育青年会」によるガリ切の月刊誌「青年サークル」(昭和40年6月発行)

第32号
北海道大学教育学部同窓会

で説明しきる。発した言葉が相手の頭の中にしみこんで、その中身がわかるまで、タイムラグも考えるし、新出用語をこちらが反復強調して、相手がつぶやいてみて、意味をもつた言葉として定着する。

そうやって、今までなかなか理解できずにいた生徒たちが「わかった」という輝いた表情になつたりします。笑顔も自然と出ます。それまで頭の中でゴチャゴチャしてモヤモヤして渦巻いていたエネルギーが「ホツ」というため息で吐き出されたりします。

はつきり大きな声で「ハイドロサルファイト溶液を加え、うす黄色にしたインジゴカーミン溶液」……はい、言つてごらん」とすると、途中までしか言えなかつたり、すぐ間違ったりします。でも、何回か繰り返していくうちにだんだんと言えるようになつて、そのうちだいたい言えるようになります。するとみんな楽しい雰囲気になります。

「今、すぐくやな気分がした?」って聞くと、みんな、そんなことはないと言いま

す。（この言葉を覚えておくこともなりませんが）新しいことを学ぶのは楽しいです。何かが少しずつできるようになるときと同じで。そういうのが好きで続いているうちに、この年になりました。そして、そういうことの一つ一つが思春期の人たちの将来に少しでも繋がっていくならこの上ないです。

わが心の故郷



(本年7月に訪れた世界遺産白川郷にて)

末に名古屋にお孫さんの子守に来た同期の四九年卒の高山幸一氏となんど四〇年ぶりにお会いし旧交を温めたのがきっかけで今回同窓会誌にお声をかけいただきました。衷心より感謝申しあげます。

頭の奥隅に四〇年間埋もれていた学生時代の想い出を、ネット検索で時系列を確認しながら掘り起こして、学問のことは全く何も覚えておらずびっくりです。しかし、今の学生には到底経験できないような結構ガチな大学紛争が続く中で、右往左往し自分探しをしたこと、そして教育学部での二年間が、卒業後の今日までの公私にわたる生活の基本的なスタンスを築き上げたと改めて確認できました。先生、ゼミの仲間達にはご迷惑もかけたと思いますが本当に感謝です。

私は大分県大分市で生まれ、地元高校卒業後、一九六九年（昭和四四年）に北大教養部（理系）に入学しました。その年の一月に東大安田講堂に機動隊が入つて東大闘争が終つたのですが、東大入試は中止。受験

生が玉突きで他国立一期検に流れ、競争は厳しくなりました。北大に潜り込みました。

すると、四月に入学式場の体育館が一部学生運動家に占拠されて入学式中止。それから五月末に大学本部が封鎖され、六月に教養部が封鎖。それから自治会反対自治会という構団かは記憶も曖昧ですが、封鎖や封鎖解除とゲバートが延々と続き、最終的に一月に機動隊が入り、本部占拠の学生を排除して、それで北大紛争が終わつたと記憶しています。

つまり大学一年生のときは北大紛争の最ピークで授業なんかありませんでした。今思い出すと赤面ですが、私も入学後すぐに「北大祭」事務局に勧誘され、自治会の下働きをする中、いっぽしの活動家さどりでモヤビラ配り、果ては他人を怪我させなくて良かつたですが、「実力行使」まで青臭くて危なつかしい冷や汗ものの学生運動をそれなりに経験しました。

小コミュニティーの中、優れた先輩、仲間も沢山いましたが、そこもまた人間

理と私欲渦巻く世界でした。高邁な理論と実際の行動の振れ幅が人間の弱さそのものと、どんな体制下であつても仕組みで程度の差はついても、結局は自分の種の「繁殖と進化」という動物的本能から逃げることは難しいということをシニカルに学んだのが教養部時代でした。

一年生の冬に北大紛争も終わり、リアル世界に戻り学部進学で選んだのが入学時志望の「薬学部生化学科」。ところが水に合いません。毎日白衣を着て実験漬けで専門技術や知識を学ぶより、ものの考え方そのものを学びたい。それにはやはり文系じゃないかと、そして失礼な話ですが、文系学部の中で就職にはどうかとは思いましたが、最も現実離れした桃源郷に見えた教育学部に一年留年後に転部を希望し、運よく竹田先生の教育史ゼミに拾つていただきました。

これが正解で、朴訥な人間味あふれる竹田先生のご指導で、ものの見方、考え方をきちんと学べたと思います。そして素晴らしい学

すると、途中までしか言えなかつたり、すぐ間違つたりします。でも、何回か繰り返していくうちにだんだんと言えるようになつて、そのうちだいたい言えるようになります。するとみんな楽しい雰囲気になります。

「今、すこやかな氣分がした?」って聞くと、みんな、そんなことはないと言いま

に少しでも多くの内職がまわれば、こちらも少しでもやつた甲斐があると思いながら、非力ではありますがあ手伝いさせていただいています。

の高島屋に就職して、三七年間東京勤務で家庭も東京で築きました。そして高島屋卒業後、現在はJR名古屋駅ビルの百貨店「ジエイアール東海高島屋」（東海旅客鉄道の子会社）の社長として四年目の単身赴任を元気にしております。

札幌はなんとも遠く、同窓会活動には義理を欠きつ

先生、ゼミの仲間達にはご迷惑もかけたと思いますが本当に感謝です。

私は大分県大分市で生まれ、地元高校卒業後、一九六九年（昭和四四年）に北大教養部（理系）に入学しました。その年の一月に東大安田講堂に機動隊が入つて東大闘争が終つたのですが、東大入試は中止。受験

治会の下働きをする中、いっぽしの活動家きどりでデモやビラ配り、果ては他人を怪我させなくて良かつたですが、「実力行使」まで青臭くて危なつかしい冷汗もののが学生運動をそれなりに経験しました。

かとは思いましたが、最も現実離れした桃源郷に見えた教育学部に一年留年後に転部を希望し、運よく竹田先生の教育史ゼミに拾つていただきました。

友達と不思議な先輩達との濃密な議論や交友で鍛えられたコミュニケーション力や人間觀察力が長い人生で何よりの宝物になつたと思ひます。

最近のベストセラー本の「木村政彦はなぜ力道山を殺さなかつたか」の著者の増田俊也氏、「一九八五年（昭和六〇年）北大入学」が去年発刊した「七帝柔道記」。これは北大出身者必読です。彼の北大柔道部時代の経験を下敷きにした「フィクションですが、私の在籍した一〇年以上後の話でも、柔道シーンを除けばまさにアナクロ時代の北大生の生活そのままに感激ものでした。

ゼミ室での団欒、留年に海を重ね仙人に昇華したとのキャッチボール、支笏湖合宿、幻の鉢菴？「ダンベ饅頭」の買い出し、宴会お約束のストーム、「都ぞ弥生」「水産放浪歌」、そしてデモの後の「インタークナショナル」「がんばろう」の放歌。恵迪寮の四人部屋での共同生活、寮祭、徹夜マージャン、北大看護学校女子との合コン、楽しかつては避けなければならぬこと

た女子中学生相手の家庭教師、札幌オリンピック前の地下鉄深夜工事の高額アルバイト。思い出が尽きません。

本当に人に誇れるいい大学。心の故郷です。了。

社会保障 受ける側から



一九五六年教育社会学卒
中 東 裏

学生の時、「社会保障」の講義はあった。イギリスの「ゆりかごから墓場まで」の制度下で只で作つて帰りの石田助教授であつた

が「ゆりかごから墓場まで」の制度下で只で作つてもらったと入れ歯を見せながらの話は、遠い外国での現実もある。

「健康で文化的な最低限度の生活」の現行水準はバブル期の幻想では無かつたのか。非情であつても「最低限度」設定に見直しの要

があるのではないか。目下の処、「予算の関係」として窓口公務員への締め付け

があるようだが、そんな姑息なことではいけないと思

か、当時は戦後の食うや食わずやの生活の記憶生々しくこの話はよく分かつた。

翻つて現代はワーキング

プア世帯の所得より生活保護世帯の所得の方が多いケースが多くなつてている。

これに医療保護を加えると

さらに顕著で明らかに不都合であろう。賃金が安過ぎるのか、保護基準が高すぎるのである。最低賃金の規定はあるが、最低生活の標準はあるのだろうか。賃金が安いといいう議論は共感を呼びやすく、理路整然としているが如くであるが、日本には低賃金の外国人労働者が結構いる。彼らは日本人よりも低い賃金で働き、労働力を再生産しつつ故国家族へ仕送りもしているといふ現実もある。

それから、だいぶ後になつて何故か破綻した他の

共済年金基金の救済に電電

従事者も居たから、同額の

基本給、同じ勤続年数でも差が出た。

それから、だいぶ後

パイプを抜き傷跡を縫合してから抜糸するまで一週間かかる、一週間目は年末首の休暇にかかるので抜糸はさらに延びると知った。やっとと抜管処置を受けた後X線透視やらCTやらの写真説明を受けたのだが、この時「様子見」の内容を聞いたところ「それは一たず一は二」と言うようなものではない」と言うのでさらにしつこく追及したところ、何が逆鱗に触れたか「それは医師不信だ。そんな奴診てやれないから他の病院に行け」と突然怒鳴り出し喧嘩になつた。これは「病院都合」とか「漫然と観てました」とかと自白したに等しいと思う。一見無為に見える入院期間でも、専門医なら嘘でもその間に起こり得る症例をいくつか挙げてその予防確認とともに言えぬ筈はないからである。

さて年末首を無為に過ごし一月四日に抜糸し退院したのだが、改めて入院治療計画書を見ると、入院見込み三週間とある。つまり病院は、一患者に付き当初計画通りの収入予算を達成しかわいだ。私は一割負担だからといふことはないが、

支払基金は残り全部を病院の請求書通りに支払う。アメリカでは保険者側にも医師団がいて請求は厳しく審査のうえ無謀な手術費用や無用の入院費は排除されるという。日本は性善説に基づき病院任せであるからかかる制度はないが、これでよいのだろうか。

だいぶ前の事、テレビに介護人に付き添われた車いすの老人が大勢日向ぼっこしている絵が出、スウェーデンでは老人が丁寧に扱われ、寝たきり老人の問題はありませんとのナレーションが入った。結構なことであるがどうしてだろうと思つたが後で分かった。スウェーデンの全老人の約半数が利用するという養老院では、脳卒中や癌末期その他他の病気で倒れても、救急車も呼ばず点滴もせず自力で食えなくなると胃瘻は当然せず、自然に任せ、やがてみんなで見送る事になるという。北欧ではこれで良しとする考えが一般的で、歐米にも流れているらしい。

現代の日本とは大違ひだ。医療保険の利用にも国によつて若干の制限はあるよ

うだが、日本は終末期医療を含め無制限である。これは国民感情医師倫理に絡む問題で年金よりも難しいと思われるが考慮する必要がある。死生觀の教育研究など当学部で出来るだろうか。

ところで私、三世代同居の家で一人暮らし、向こう三軒両隣とは会うと挨拶する程度、身体は何が主病か分からぬが、気力体力とも衰え殆んど外出できない。

○公民館長を務めて6年目。地域の活性化に微力を注いでおります。

赤羽 仁（64年卒）長野県伊那市
○いつも「たより」見せてもらっています。特に知った方や恩師の記事、近況は懐かしいです。竹田先生まだ現役で、私も高校教員あと2年ですが、「これからだ」と励まされる思いです。定年後に同窓会に参加しようと思います。

浅田 正典（79年卒）大阪府東大阪市
○今年の夏は4年ぶりに帰札しました。30年ぶりに同級生とも再会し、一気に学生にタイムスリップ。うまにタイムスリップ。うまい酒を味わいました。好きです札幌！

杉山 昌夫（83年卒）埼玉県さいたま市
○2020年32回東京オリンピック開催が決まり、8月20日には不思議ですね。

武田 光弘（60年卒）東京都杉並区
○30年以上、北帰行を夢見つづ、今春、初の九州上陸となりました。北の大地で暮らした記憶は鮮明でありつつも、体はずつかり「内地」化しております。皆様のご健康をお祈ります。

50代から市民マラソンに参加しています。

氏名未記入（83年卒）福岡県博多市
○卒業してから57年、いろいろありましたが、もう少ししゃんばってみます。皆様のご多幸を祈っております。

早川 和雄（56年卒）小樽市
○3月末で退職しました。

酒井 英資（76年卒）福島県福島市
○北海道の支庁ごとの「特別支援教育実践史」をまとめています。そして、市町史などに引用されるなど、少しは役に立つものをと非力ながらやっています。

市澤 豊（03年博士課程終了）札幌市南区
○現在、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター研究部にいます。

平成 26 年 8 月 20 日

古本 尚樹（01年卒）札幌市北区

○このたびご縁があつて、小生がかかる仕事（中小企業家同友会全国協議会）の社員教育委員会で、竹田正直先生（同窓会長）に講演していただきました。感謝、感謝です。

国吉 昌晴（66年卒）東京都西東京市

○音楽演奏の後には空しさだけが残る！ 演奏者の宿命か？ 武者小路のこの道より我を生かす道なし、これからも、この道を歩いていくか！

川越 守（56年卒）札幌市南区

○学会出席のため、カナダ・モントリオールにいるため出席できません。医学部大学院にて博士論文に取り組んでおります。

松島 愛子（11年修士課程終了）札幌市北区

○当日はマンションの臨時総会があり、出席できませんでした。ほぼ毎日、近くのスキー場へと通い、おかげさまで健康です。ご盛会をお祈りします。

橋爪 幸正（61年卒）埼玉県さいたま市

○前略、学生時代はさわめ

て不真面目で、授業にもあまり出席しなかつたので、卒業生を名乗るのはおこがましいばかりです。仕事はまだ現役なので、リタイアしたら出席します。

小生がかかる仕事（中小企業家同友会全国協議会）の社員教育委員会で、竹田正直先生（同窓会長）に講演していただきました。感謝、感謝です。

津川 誠（69年卒）神奈川県横浜市

○元気に過ごしています。

中川 哲男（66年卒）札幌市豊平区

○1月には高齢者の仲間入りです。体力も能力も低下の一方ですが、気力のみで何とか生き延びています。

鈴木 泰（71年卒）北広島市

○大学在学中に住んでいた所のすぐ近くに引っ越してきました。

林 孝幸（91年卒）札幌市北区

○いつも大変お世話になつております！ 今年の7月に5年ぶりに母校へうかがう機会があり、構内の縁に心を洗われました。

谷口 瑞石（91年卒）滋賀県豊郷町

○このたびは同窓会のご案内をいただきまして誠にありがとうございました。ごろの同窓会事務局のお仕事にご尽力くださいますことを深く感謝申し上げます。

吉田 誠吾（64年卒）余市町

○平成6年の定年退職から20年近い歳月が流れました。

○本年10月1日は織田一家のいとこ会（7回目）が函館であります。来年（2014年）11月1日、10年勤めた赤平高校閉校記念、なかなか教育学部同窓会に

参加できませんが、もう一度は出席したいですね。

織田 光之（55年卒）埼玉県さいたま市

○いつも同窓会だより楽しみしております。阪神・淡路大震災で身内を亡くしました。私は、当時学部長をなさいた竹田先生はじめ、皆様あたたかく接してくださいましたことをよく思い出します。

津川 誠（69年卒）神奈川県横浜市

○元気に過ごしています。

中川 哲男（66年卒）札幌市豊平区

○1月には高齢者の仲間入りです。体力も能力も低下の一方ですが、気力のみで何とか生き延びています。

秋山 薫子（97年卒）兵庫県明石市

○聖書についての自分も他人もわからないような話のシリーズを、石原裕次郎も通つたという小樽富岡カトリック教会の機關紙に断続

きました。

林 孝幸（91年卒）札幌市北区

○いつも大変お世話になつております！ 今年の7月に5年ぶりに母校へうかがう機会があり、構内の縁に心を洗われました。

吉田 誠吾（64年卒）余市町

○このたびは同窓会のご案内をいただきまして誠にありがとうございました。ごろの同窓会事務局のお仕事にご尽力くださいますことを深く感謝申し上げます。

橋爪 幸正（61年卒）埼玉県さいたま市

○前略、学生時代はさわめ

白田 貞治（73年卒）札幌市豊平区

○春に息子も法学部を卒業させていただきました。東京に就職し、自分はひと仕事終えた気持ちになつておられます。ご盛会をお祈ります。

中村 佳代子（84年卒）札幌市厚別区

○出席できず申し訳ありません。半世紀以上たつても北大教育学部を忘れません。

黒川 昭和（55年卒）小樽市

○元気で喜寿を迎える平凡な毎日です。

安栄 鉄男（61年卒）北広島市

○自然の感性科学研究所と研究しております。

北守 昭（76年修士修了）札幌市北区

○10年来、入退院の繰り返しですが、体調の良いときは、今でも後輩の練習（バドミントン）を見に行つています。

平澤 寛（56年卒）札幌市南区

○読売新聞を2年前に退職して以来、恵迪寮同窓会の会誌編集と広報幹事を担当しています。29日は同じ時間帯に寮の仲間2人の偲ぶ会がありますので失礼します。

忍 博次（54年卒）江別市

○周囲の輪を少しづつ広げながら、変わりなく過ごしております。

菅 洋一（06年卒）札幌市豊平区

○函館中部高校で陸上部の生徒とかかわりながら、自分も女子のペースメーカーで走っています。まだまだ現役選手の気分でフルマラ

樽市 崇市
○春に息子も法学部を卒業させていただきました。東京に就職し、自分はひと仕事終えた気持ちになつておられます。ご盛会をお祈ります。

常本 勇（55年卒）札幌市北区

○学生の試合と合致し、今年は欠席いたします。ご盛会をお記念いたします。

吉田 敏雄（56年卒）札幌市北区

○ご連絡ありがとうございます。教育学部の友人とフェイスブックでつながりが持てて、今も仲良くしていきます。

赤塚 壮樹・あかね（02年卒）神奈川県川崎市

○老いもまた楽し。幸いに健康を維持し、福祉のボランティアや少年時代にやりたかったことを今学んでいます。

馬場 裕司（75年卒）札幌市手稲区

○同窓会の皆さん、いつもお世話になります。ご健康を祈願申し上げます。

北守 昭（76年修士修了）札幌市北区

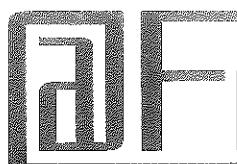
○同窓会の皆さん、いつもお世話になります。ご健康を維持し、福祉のボランティアや少年時代にやりたかったことを今学んでいます。

忍 博次（54年卒）江別市

○周囲の輪を少しづつ広げながら、変わりなく過ごしております。

菅 洋一（06年卒）札幌市豊平区

○函館中部高校で陸上部の生徒とかかわりながら、自分も女子のペースメーカーで走っています。まだまだ現役選手の気分でフルマラ



北大卒業生向けインターネットサービス

北大では、卒業生の皆様にご利用いただけるWebサービス「アットフロンティア」をスタートしました。フリーメールの手軽さで北大ドメインのメールが使って、他の卒業生との連絡機能も搭載。校歌や寮歌の演奏データがダウンロード可能なほか、北大発のイベントやビジネス情報も入手できます。生涯使えるメールアドレスで、他の卒業生や北大と、生涯つづくコミュニケーション。

生涯使えるメールアドレスで、生涯つづくコミュニケーション。



利用資格は“北大卒業生”、利用料は無料です。

北大ドメインのメールアドレスを無料でご提供します。

無料で取得できる hokudai.ac.jp ドメインのメールアドレスは、メールソフトからも Web メールとしても利用できますので、フリーメールのように便利なのに、北大ドメインなので高パリューです。利用期限はありませんので、普段使いのメールアドレスとしてご活用ください。もちろん、いつも使う職場や携帯電話のメールアドレスに転送することもできます。

北大の四季やイベント、研究成果やビジネス情報も。

北大で行われるイベント情報や、キャンパスに訪れる四季の様子など各種お知らせを毎月お届けします。北大発のビジネス情報、話題の講演会、画期的な研究成果からサークルの活躍まで、多彩な内容でお送りします。

なつかしの寮歌や校歌を携帯電話・PCでダウンロード。

あの日歌った校歌や寮歌も、時間が経つどう覚えに…そんなときは、@Frontier で歌詞やメロディをしっかりチェックしましょう。“北大人”的集まりには欠かせません。もちろん、携帯電話の着信メロディにも使用できます。

登録ユーザー同士で検索して、連絡先を管理。

独自のアドレス帳機能で、他の卒業生との連絡手段として活用できます。連絡先が分からなくなつた相手でも、氏名や学部学科など特定の情報が分かれればメッセージをお届けします。

*連絡相手は@Frontier メールアドレスを取得した卒業生に限ります。

@Frontierに関するお問い合わせは、北海道大学総務企画部広報課 (info@frontier.hokudai.ac.jp/011-706-2012) までお気軽にお寄せください。

@Frontier 新規登録申請方法

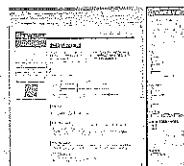
①Webサイトにアクセス

二次元バーコードを携帯電話で読み取るか、携帯電話・PC ブラウザでの URL を入力してアクセスし「新規登録申請」をクリックしてください。
<http://www.frontier.hokudai.ac.jp/>



②氏名や卒業学部を入力

登録申請フォームが表示されるので、必要事項を入力して申請手続きを行ってください。



③アカウント送付

北大事務局により、卒業事実確認を行います（この作業にはお時間をいただく場合があります）。確認完了後、アカウント情報(ID およびパスワード)を Eメールまたは郵便で送付します（通知方法は申請時の連絡先に Eメール・ご住所のどちらを指定したかによって異なります）。



学生支援の「北海道大学カード」

北大人の証明

北海道大学連合同窓会が発行する「北大カード」は、北大人としての証です。

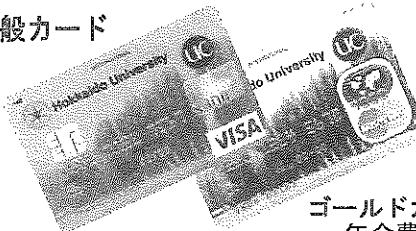
(北大同窓生、在学生父母及び教職員限定)

一般カードは年会費永久無料！！
《ゴールドカードを除く》

特典

- 附属図書館の入館証
- 植物園の無料入園証
- 北大カード協力店の割引・優待
- 北大出版会書籍割引
- 希望者へ結婚式への祝電サービス
(総長・連合同窓会長専用による)
- カード会社からの各種サービス など
- (詳細は申込書等をご覧ください。)

一般カード



カードの利用額に応じて提携手数料がカード会社から還元されます。これを「学生支援資金」として奨学金などの学生支援に活用します。

ゴールドカード
年会費10,000円(税抜)

お申込について

1. 専用の申込書を下記にてご請求ください。専用申込書を送付いたします。
2. 専用申込書に所定事項を記入・捺印いただき、ご投函ください。
3. カード会社の審査を経て、お申込から約1ヶ月後にカード会社から配達記録郵便にてご自宅あてお送りいたします。

北海道大学連合同窓会事務局 (北海道大学総務企画部広報課)

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

電話：011-706-2012

E-mail:kouhou2@jimu.hokudai.ac.jp

※UCカードのホームページからも、申込書を請求できます。

(ホームページ下部の「資料請求」からお進み下さい。)

(<http://www2.uccard.co.jp/join/college/hokudai.html>)

北海道大学ホームカミングデー2014

公開講演会

憲法改正問題 —過去と現在からのアプローチ—

日 時 9月27日(土) 14時～16時30分
 場 所 人文社会科学教育研究棟(W棟) 103室
 参加費 無 料
 定 員 約200名(お申込不要 どなたでもご参加いただけます)

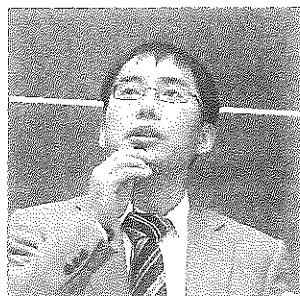
「近代日本の護憲・改憲・その間」

川口 晓弘 氏 北海道大学大学院文学研究科准教授

「戦後政治史の中の安倍政治

：戦後レジームからの脱却が意味すること」

山口 二郎 氏 法政大学法学部教授、北海道大学名誉教授



川口 晓弘 准教授

日本近代史が専門。明治憲法制定史に関する著作等がある。

[主な著作物]『明治憲法欽定史』(北海道大学出版会、2007年)、『きのうの日本』(有志舎、2012年(鶴飼政志氏との共編))など



山口 二郎 教授

政治学が専門。現代日本政治の分析で定評がある。

[主な著作物]『歴史を繰り返すな』(岩波書店、2014年8月)、『いまを生きるための政治学』(同、2013年)、『政権交代とは何だったのか』(同、2012年)など

共同開催

大学院文学研究科・文学部 大学院教育学院・教育学研究院・教育学部

大学院法学研究科・法学部 大学院経済学研究科・経済学部

文学部同窓会 教育学部同窓会 法学部同窓会 経済学部同窓会



[お問い合わせ] 法学研究科・法学部庶務担当 TEL: 011-706-3118 E-mail: shomu@juris.hokudai.ac.jp